

令和4年度第1回神岡地域協議会会議録

令和4年 4月28日

神岡地域協議会

令和4年度第1回神岡地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■委嘱状交付	2
■支所長あいさつ	2
■地域協議会委員・職員紹介	3
■会長あいさつ	3
■会議録署名委員の指名について	4
■案件	
①令和3年度神岡地域枠予算実績について	4
②令和4年度神岡支所主要事業について	5
③地域枠予算活用事業について	9
■その他	1 2
■閉会	1 4
■署名	1 4

令和4年度 第1回神岡地域協議会 会議録

■日 時： 令和4年4月28日（木） 午前10時

■会 場： 神岡庁舎 3階 大会議室

■出席委員： 10名

太 田 久美子、 工 藤 容 子、 今 真 弓、 齊 藤 劼、
齊 藤 亘、 佐々木 尚 美、 佐 藤 和 彦、 鈴 木 幸 一、
高 橋 昇、 中 村 淑 子

■欠席委員： 4名

今 野 由美子、 高 橋 しげ子、 高 橋 保、 高 橋 尚 子

■オブザーバー： 1名

佐々木 宮 廣（神岡地区自治会連合会長）

■出席職員： 6名

伊 藤 直 樹（神岡支所長）
大 野 暁 佳（市民サービス課長）
渡 邊 一 光（農林建設課長）
齊 藤 浩 志（神岡中央公民館長）
舛 谷 恵理子（地域活性化推進室 参事）
佐 藤 孝（地域活性化推進室 主査）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 委嘱状交付
- 3 支所長あいさつ
- 4 地域協議会委員・職員紹介
- 5 会長あいさつ
- 6 案 件
 - ①令和3年度神岡地域枠予算実績について
 - ②令和4年度神岡支所主要事業について
 - ③地域枠予算活用事業について
- 7 その他
- 8 閉 会

(午前10時 開会)

○事務局（地域活性化推進室）

時間となりましたので始めさせていただきます。

本日は、お忙しいところご出席いただきまして誠にありがとうございます。

はじめに、神岡地域協議会委員委嘱状交付式を開始します。

昨年度、ご自身の諸事情により退任されました伊藤明美様に代わり、大仙市商工会女性部の推薦をお引き受けくださいました太田久美子様、同じく、昨年度、大仙市消防団神岡支団長の池田君男様が同職をご退職されましたので、令和4年度大仙市消防団神岡支団長に就任されました高橋昇様のお二方に、大仙市長老松博行より委嘱状を交付いたします。本日は、市長に代わり神岡支所長伊藤直樹がお渡しいたします。支所長は前の方をお願いいたします。

委嘱を受けられるお二方は、恐れ入りますが、順にお名前をお呼びしますので前にお進みください。

【太田久美子委員、高橋昇委員の順に委嘱状を交付】

続きまして、神岡支所長伊藤直樹がごあいさつ申し上げます。

○伊藤神岡支所長（以下「支所長」と表記）

おはようございます。委員の皆様には、大型連休前のお忙しい中、第1回神岡地域協議会にお集まりいただきましてありがとうございます。

先程紹介がありましたけれども、私、この4月の異動で支所長を拝命いたしました伊藤直樹と申しますので、どうかよろしくをお願いいたします。

委員の皆様には、日頃から市民と行政との協働によるまちづくりを推進する中心的役割を担っていただいております。地域課題の解決に向けた地域枠予算の活用をはじめ、各種計画や施策への提言など、格段のご理解とお力添えをいただいております。厚く御礼申し上げます。

ここで、年度初めからこれまでの地域の行事について報告させていただきます。

4月6日には、春の交通安全パレードが実施されております。また、同日、午後からは平和中学校入学式が行われ、35名の新入生を迎えております。

4月8日には、神岡小学校入学式が執り行われ、32名のかわいい新入児童を迎えております。久しぶりに小学校の入学式に参加させていただいて、すごく感激いたしました。

続きまして、4月14日には、さくらの会の方々と神岡支所職員によりまして、中川原コミュニティ公園で剪定した桜の枝の収集・運搬作業を行っております。なお、夜桜ライトアップにつきましては、ここ数年コロナ禍で中止が続いておりましたけれども、今年は4月20日から4月30日まで、時間が午後6時から8時までということで、期間と時間を短縮しまして実施しております。ただ、残念ながらほとんど葉桜となってしまいまして、30日に行っても葉っぱだけかなという感じになりますけれども。

それから、4月19日には神岡地区の民生児童委員協議会の定期総会が実施されております。

4月26日には、神岡地区遺族会総代会が実施されております。

4月27日には、すすくだけっこ園と神岡小学校、平和中学校、そして神岡支所、神岡中央公民館の担当者が集まりまして、今年度の主な事業について情報交換を行っております。

さて、本日予定された案件ですが、令和3年度の地域枠予算実績、4年度の支所主要事業、地域枠予算活用事業についてなどとなっておりますので、よろしくご協議をお願いいたします。

神岡地域の活性化、地域振興を一層推進していくため、忌憚のないご意見を賜りますようお願いいたしまして、あいさつとさせていただきます。

本日はどうぞよろしく申し上げます。

○事務局（地域活性化推進室）

ありがとうございました。これを持ちまして、委嘱状交付式を終了いたします。

次に、改めまして第5期地域協議会委員の皆様を私の方からご紹介申し上げます。なお、地域協議会委員名簿を資料として添付してありますので、一緒にご確認ください。

【地域協議会委員紹介】

続きまして、本日出席の支所職員を伊藤支所長からご紹介申し上げます。なお、出席職員名簿を資料として添付してありますので、一緒にご確認ください。

○支所長

それでは、職員を紹介させていただきます。

【職員紹介】

今年1年よろしくお願いいたします。以上です。

○事務局（地域活性化推進室）

引き続き、令和4年度第1回神岡地域協議会を開催いたします。

はじめに、齊藤会長よりごあいさつをいただきます。

○齊藤神岡地域協議会会長（以下「会長」と表記）

皆さんおはようございます。今日は令和4年度第1回神岡地域協議会のご案内をしましたところ、ご出席いただきましてありがとうございます。

先程、太田さん、高橋さんが委嘱されました。令和4年度よろしくお願いいたしますと思います。

12名の委員の方におかれましては、引き続き今年度もよろしくアイデアをお願いしたいと思います。そして、オブザーバーとして大変心強い佐々木宮廣さんが、地域協議会と自治会連合会の連携ということはこの地域協議会では謳ってございまして、その関係で地域との密着を図るため、佐々木宮廣さんをオブザーバーとしてお願いしてございまして、どうかよろしくお願いいたしますと思います。

なかなかコロナが落ち着きませんで、会議もなかなかやれるのかなという状況ですけれども、今日お集まりいただきまして、本当にありがとうございます。

また、今ご紹介がありましたけれども、伊藤支所長さんをはじめ新しい課長さん3名、課長さん方におかれましては神岡地域ゆかりの方と言いますか、お生まれの方々ですので大変心強く感じております。どうか、ひとつアドバイスをよろしくお願いいたしますと思います。

当地域協議会ですが、神岡を再発見してより良い神岡地域づくりをするために運営されております。新しいことに取り組むことももちろんですけれども、継続的な事業も沢山ございます。その中での反省点、皆さんお気づきの注意点など、この会を通じてより良い地域にするために改善してまいりたいと思いますので、どうか普段からの生活でアイデア、それから事業の見守

り役としてご活躍いただきたいなと考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。今日、私一番年下でしょうか。そのようですけども、この会の議長を拝命してありますので、どうか忌憚のないご意見の中で良いアイデアづくり、良い活動をしてまいりたいと思ひますので、どうか令和4年度よろしくお願ひいたします。

○事務局（地域活性化推進室）

ありがとうございました。この後の会議の進行につきましては、大仙市地域自治区の設置に関する条例第8条4項の規定に基づきまして、齊藤会長にお願ひいたします。

○会長

改めまして齊藤でございます。この会議の進行役を務めさせていただきます。どうかよろしくお願ひします。

それでは会議を始めます。

本日は、今野由美子委員、高橋しげ子委員、高橋保委員、高橋尚子委員より欠席の届が出されております。大仙市地域自治区の設置に関する条例第8条3項の規定により、会議は委員の2分の1以上が出席しなければ開くことができないとされておりますが、本日は2分の1以上の出席でありますので、会議は成立していることをご報告申し上げます。

次に、神岡地域協議会運営規定第7条2項の規定に基づきまして、会議録署名委員を指名いたします。会議録署名委員は、13番高橋昇委員と14番中村淑子委員にお願ひいたします。

それでは、本日の案件に入ります。はじめに、令和3年度神岡地域枠予算実績について、事務局からの説明をお願ひいたします。

○事務局（地域活性化推進室）

【資料No. 1に基づき説明】

○会長

ありがとうございました。ただ今の説明に対しまして、委員の皆様からご意見、ご質問を頂戴したいと思ひます。いかがですか。

私からいいですか。このコロナという状況下で理由はわかりますけれども、大仙市内各地域の予算執行率というのはわかりますか。神岡は何番目くらいとか、ざっくりしたものでかまいませんが。

○事務局（地域活性化推進室）

はっきり何番目というのは今この場ではわからないのですが、あまり上位ではないです。執行率が高いところだと8割くらいだったと記憶しています。全体的にコロナの影響でどうしても中止事業とかがでておりましたので、年末近くに少し予算を減額補正しております。我々の方、もしかしてできるかもしれないという可能性も感じながら、あまり大幅に減額はしなかったのですが、やはり例年行っているイベント系、補助金の方がほとんど出ていかない状況で、47%という執行率となっております。

○会長

はい、わかりました。他の委員の方、何かございませんか。
よろしいですか。

(質問・意見なし)

それでは、続きまして令和4年度神岡支所主要事業についての説明をお願いいたします。

○支所長

【配布資料 No. 2 に基づき説明】

(以下、市民サービス課長、農林建設課長、公民館長の順に説明)

○会長

ありがとうございました。ただ今の説明に対しまして、委員の皆さんからご意見、ご質問を頂戴したいと思います。

○齊藤 劭 委員

はい。まず最初に、彩色千輪プロジェクトですが各地域に1カ所ずつということは、8プロジェクトあるということですか。

○支所長

はい、そうです。

○齊藤 劭 委員

次に、資料 No. 2-2 の自治会育成支援事業とありまして、その中で28自治会の活動費助成とありますけれども、どのような活動に対しての助成でしょうか。

○事務局（地域活性化推進室）

各自治会さんで行うクリーンアップとか花いっぱいとか、町内として子どもたちのお楽しみ会のような活動などです。あと、納涼祭なども含まれます。

○齊藤 劭 委員

はい、わかりました。すみません、あと、放課後児童クラブなんですけれども、コロナ前とコロナ後で子どもさんの預かりは多分増えてきていると思うんですけれども、今現在、だいたい一日に何人くらいの利用者があるものですか。

○大野市民サービス課長（以下「市民サービス課長」と表記）

そうですね、一日何人という平均的なところは把握していませんけれども、コロナで増えているというよりはむしろ減っていると言いますか、お家の方で利用を控えているという場合はあるかと思えます。ただ、今現在、定員70名ですが登録としては76名のお子さんが登録されていますが、毎日その方全員が来ているわけではないので、コロナで増えているとかそういうことはないかと思えます。

○齊藤 劭 委員

はい、わかりました。

あの、大仙市では例えば小・中学校、幼稚園とかがコロナで学級閉鎖とか学校閉鎖とかにな

っても学校名などは公表しておりませんが、今これだけコロナに慣れてきてと言えれば変ですけれども、ある程度、大仙市内の小学校とか中学校とか保育園とか大雑把な意味でのクラスター発生は報道されますけれども、地域の人としては学校名とか保育園名も出してもらった方が、注意喚起に繋がるのかなと思います。例えば大仙保健所管内と言っても、角館だとか田沢湖だとか六郷とかの方も入ると思うので、小学校名が出れば、そっちの人はどのように注意すればいいかというのがある程度つかめると思うので、ちょっと難しい話かもしれないですが、学校名などは公表しても問題ないと思うんですけども。あとは高齢者施設ですね。クラスターが発生したところの名前は、なんとか上の方へあげてもらって、公表していただけるようにしていただいたら大変助かるかと思います。

○支所長

はい。その件につきまして、まず、コロナに誰が罹っているというのを判定しているのは県の方でして、そこで正式発表されないものですから、私たちも教えてください、発表してくださいと言っているのですが、県の方でそういう施設名を発表しないという方針なのに、私達ではそこまでできないという状況ですので、痛し痒しと言いますか、そういう状況ですので何とかご理解をお願いします。

○齊藤勲委員

風評被害と言っても、今でそんなにないと思うので、公表しても問題ないと思うんですけどね。

○支所長

もしかすると、近々県の方もそういうような判断で基準を変えるかもしれませんが、今レベルの見直しとかもやっていますので、そういう方向に行くかもしれませんが、今のところはその点については県の方で考えを変えていませんので、私たちの方もそこを勝手にというわけにはいかない状況ですので、なんとかご理解いただきたいと思います。

○齊藤勲委員

まだいいですか。さっき渡邊課長の方から中央公園のことで、来年リニューアルをやってくれるということでしたけど、2、3年前から神岡中央公園には神岡在住以外の、市外在住の人とかで利用者がすごく多いんです。土・日・祝日なんかだと、少なくとも30組、そのくらいかなりの人数が利用されています。私がいつも見ているのは、乳幼児用の低いすべり台があるんですけども、そのすべり台2台とも、滑ってきて平らになるところの傾斜が逆なのか水が溜まるんですよ。子どもの指が入らない程度の小さい穴でもいいので、強度と怪我を考慮したような、小さい水抜き穴でも開けてもらうとか、水が溜まらないような施工をしてもらうとか何とかしてもらわないと、来年と言わないですぐに対処してもらえれば、おしりを濡らさないですむのかなと思います。なんとかそここのところ善処していただけないでしょうか。

それから、せせらぎというか前は水を流していて、流さなくなって何十年なるのかわからないけども、やっぱりこの気候変動というか、ものすごく温度の上がる夏場ですけども、熱中症対策のためにもそのせせらぎはぜひやってほしいし、もし改修されるのであれば同時にミストというか、霧吹き状のものが何時間おきでもいいので出すような設備を作ってもらわないと、中央公園は大きい木とかの日影がない公園でして、日影があると言えればせいぜいプールの横の桜の木の下くらいで、桜の木の下は結構毛虫とかが多くて、なかなか日影として利用できるよ

うな場所でないので、今さら木を植えて日影を作るわけにいかないでしょうから、子ども達が熱中症にかかりにくいような施設にしていただければ、なお一層利用者も増えるでしょうし、子ども達の安全にも繋がると思いますので、ぜひそのところよろしくお願ひしたいと思ひます。

○渡邊農林建設課長（以下「農林建設課長」と表記）

はい。まず、中央公園の遊具ですけれども、強度に問題なければ、安全性に問題なければ穴を開けるといふのも可能だと思ひますけれども、そこは私も専門分野でないで専門の人に聞いてみないと、それが可能かどうか。先程お話しした公園の整備につきましては、大型遊具2基にするみたいです。小学校向けのちょっと大き目のものと、それ以下の子ども達が使えるやや小ぶりと言ひますか、幼稚園・保育園の子どもさんが使えるような遊具と、小学校中・高学年が使えるような遊具を2種類用意するようです。

○齊藤勲委員

あのすべり台は、よちよち歩きくらいの子どもが滑る低いやつで、その子達は水が溜まるとか確認して滑るわけでないで、もうちょっと大きい子達であれば、水が溜まっているからここは行かないとかわかるんだけど、なんとかあれだけは、せつかく遊びに来てびしょびしょになるのも問題があるので。でなければ、穴があけられないとなれば、雨が降った次の土日とかはその水溜まりを掃いて乾かしてあげるとか何かしらしないと、せつかくの遊具が何もならない、悲しい思い出になってしまうと困るので、どうかひとつよろしくお願ひします。

○農林建設課長

あともう一点、ミストの件については今回の計画には挙がっていませんけれども、地域の方からこういう要望があったということは、都市管理課の方にも伝えておきたいと思ひます。やっぱり、齊藤委員がおっしゃられた通り日影がない公園で、あそこは。一応、大き目の東屋とか小さい東家とかを何カ所か設置するといふ、日影を作るといふような計画にはなっていたようです、そのことも含めて伝えていきたいと思ひます。

○齊藤勲委員

すみません、いっぱい質問してしまひまして。

○会長

大丈夫ですよ。他にござひますか。

○佐々木自治会連合会長（以下「自治会連合会長」と表記）

質問になるか、関係ない話になる恐れがありますが、嶽の湯の入口のタイルが剥がれていまして、よく他の市町村の方が利用するところなので、せつかく大仙市の中で一番利用価値が高い嶽の湯というものを、やはりあれではちょっと名折れになるのではないかといふようなことを、再三再四私の耳に聞こえてきます。浴槽の方は、自治会連合会の時に直接市長にお話しして直したといふことはありましたが、そういうことでなく、管理といふのはやはり大切なことだと思ひますので、昔みたいに職員がいなくて回って歩くことができないでしょうけれども、そういう管理を細やかにしていただければと。あそこだけは入口ですので、やはり直してもらった方が、いくらも掛からないでしょうからお願ひしたいものだなと思ひます。

○市民サービス課長

ありがとうございます。玄関のタイルのところは私も先日見まして、確かにそうなんですけれども、やはり建物がだいぶ古くなっておりまして、他にも問題が色々出てきていますので、財政課の方とも粘り強く交渉しながら、なるべく早めに修繕できるように話していきたいと思っております。すぐには無理かもしれませんが、できるだけ早急にやっていただけるようお願いしていきたいと思っておりますので、しばらくご不便、ご迷惑をおかけしますがよろしくお願ひしたいと思います。

○齊藤勲委員

すみません、もうひとつ。今年は500歳野球の全国大会は開催されるのでしょうか。と言いますのは、北檜岡地区の三町内会合同で毎年側溝清掃をしているんですけども、全国大会で早く負けたチームが公式ではないけど試合をするらしいんですけども、その神岡野球場に行く道路の側溝清掃と練習する人達の出入りが重なるとまずいということで、急に一昨年くらいから言われてきました。今現在、やるかどうかはわからないかもしれませんが、もし全国大会をやるのであれば、わかった時点で連絡くだされば、側溝清掃の際に気を付けなければいけないとか気を付けなくてもいいとかという話になりますので、どうかお知らせ願えればと思います。ちなみに、側溝清掃の日には7月16日土曜日から18日までの3日間、16日は上町、17日は中町内会、18日は下町内会と4月の総会で決まっていますのでお願いいたします。

○会長

ただ今の説明は市の方の主要事業の報告的なものですけども、今、当地域協議会の雰囲気が変わってきてまして、この際、市の方に要望があるならどんどん出していただければ。ご意見、ご質問というよりもご要望をお伺いしたいと思います。

○鈴木幸一委員

墓地公園のトイレのことですけども、やはりできてからかなり年数も経っていますので、管理はよくやっていたらいいんですけども、トイレが昔風なトイレなものですから、今すぐできないとなれば年次計画で少し手を加えてもらえないものでしょうか。

○会長

墓地公園の管理は市民サービス課ですか。

○市民サービス課長

はい。そういうご要望があったということで、担当の方に話しておきます。すぐには無理かもしれませんが、課題ということで話していきたいと思っております。ありがとうございます。

○支所長

先程の齊藤委員のお話でしたけれども、今見ましたら今年の全国大会は同じ7月16日から18日で募集しているようです。ですので、やるかやらないか、また直前で中止になるかもしれませんけれども、やるとすればその日程ということですのでよろしくお願ひします。

○会長

よろしいでしょうか。この主要事業に関しまして、他の案件もございますので、後ほどあればまたお伺いしたいと思っておりますので、資料ご参照の上お考えいただきたいと思っております。一旦この主要事業の説明については終わりとしたいと思っております。

続きまして、地域枠予算活用事業についての説明を事務局よりお願いいたします。

○事務局（地域活性化推進室）

はい。そうすれば、地域枠予算活用事業の説明に入らせていただく前に、案件1の際に会長さんの方から質問のあった、他の地域の地域枠予算の令和3年度の執行状況なんですけれども、確認したところ、一番執行率の高い地域が中仙地域で85.2%、神岡は全体の上から数えて6番目の執行率です。全地域の執行率をお知らせしたらよろしいですか。

○会長

いえ、全地域まではいません。

○事務局（地域活性化推進室）

一応、全体の執行率としては61.3%といった状況になっております。ということでよろしいでしょうか。

そうすれば、案件の方に戻らせていただきまして、令和4年度の地域枠予算活用事業についてご説明をいたします。

【資料No. 3-1及びNo. 3-2に基づき説明】

行政主導型

・神岡地域お知らせ版号外事業

事業の目的：支所の主要事業や予算等を掲載した特集号を全戸配布することで、支所の取り組みを地域住民に知っていただく。

事業費：69,300円

・神岡地域夜桜ライトアップ事業

事業の目的：桜の開花期間にライトアップを実施することにより、神岡地域の桜の名所をPRし、賑わい創出につなげる。

事業費：595,000円

市民協働型

・地域ボランティア活動育成事業

事業の目的：神宮寺地区内のさくら樹木の剪定やクリーンアップにより、会員及び住民の環境保護・美化意識の向上を図る。

申請者：さくらの会

申請額：610,300円

○会長

ありがとうございました。ただ今の説明につきまして、ご質問ございませんでしょうか。

○自治会連合会長

災害のことに关してですけれども、おかげ様で雄物川の築堤ができて、水害というのは毎年2回ぐらい水に浸かる家がありましたけれども、それがなくなりました。市の方から災害のマップが届きましたけれども、あまりにも大雑把と言いますか、全市に渡っているの、神岡地域の災害というものを、神岡というのは私の知る限りほとんど水害と地震だろうなということで、噂によりますと玉川ダムが決壊した場合には神岡小学校の2階まで水が来ると、そういうふうな噂が前に出ました。ですから3階以上に避難しなければ、または、嶽山の方の川向に行くか畜産試験場の方の高野方面に逃げるかということであるというようなことを前に聞いたことがあります。そういうことで、やはり地震というものには皆不安を抱いているわけで、私の家のすぐ裏まで水が来るわけなんで、そういうことも含めて、もしできますならば神岡の地域の災害ということでわかりやすく、あまり細かくじゃなく、きちっとしたものを出していただければと思います。

それと、できれば神岡の広報も色んな種類がありますけれども、はっきり言いますと80歳以上になりますと小さい字は見ません。見えないですから、せめて12ポイントくらい大きい活字で出してもらわないと、小さい活字のものをいただいてもほとんど読んでいないという人が多いので、それも含めて広報に対する色んなものをお考えいただければと思っております。よろしくご判断をいただきたいと思っております。以上です。お答えはいりません。

○会長

市民サービス課長、大変そうですがよろしくお願ひします。

○市民サービス課長

貴重なご意見をいっぱい聞けてありがたく思っております。

○会長

防災マップというのは、地域枠の予算で地域版というのを作成することは可能ですか。行政主導でできるものであれば100%使えるのかなと思っておりますけれども、いかがですか。

○支所長

今やっているかは定かではないですが、総合防災課の方で町内ごとみたいな感じで、地域の自分達で作る防災マップに補助を出しております、その場所に住んでいる方々が一番わかる部分もありますので、それを入れ込んだマップの作成に補助を出していますので、それを使うのもひとつの手かなと思うところです。どうしても、ああいうハザードマップというのは全市的に作ることはなんですけれども、その地域、場所による細かい危険なところとか特性とかを掴み切れなくて、やっぱり地域の人しかわからないという部分もありますので、自分達の知っているところとか危険な箇所とかを入れ込んだものを作るのもひとつの手かなと思っておりますので、そういうものがあるということをお知らせいたします。よろしくお願ひします。

○齊藤勲委員

今の防災マップは神岡地域はまず90%水に沈むというマップだから、何百年に一回の大水害という感じだろうけど、今の雄物川の堤防が越水するくらいの洪水というか、そのくらいでどのくらい地域が水没するかというようなマップでないと、あまりにも大きい雨量のマップで、結局逃げるところがないというようなマップになっているので。神岡地域でいくと八石とか高

野とか山際に逃げるしかないという状況なんだけど、その高いところに行く途中が自分のいるところよりも早く水没してしまった場合はたどり着かない、神岡地域の現状のマップでいくとそういうマップなんです。例えば神宮寺地区だって、宮田のあたりが早くついてしまって高野まで行けない、安全なのは金葛とかあっちの方くらいで、マップに記されている雨量があまりにも大きい量だから、雄物川の堤防を越水した程度のマップがほしいのです。というのは、たぶん今の雄物川の築堤は暫定だけでも、雄物川流域の堤防が全部できた後でないと嵩上げはしないという国交省の方針なんです。今の堤防を嵩上げするにはもう何十年かかるかわからないという状況です。だから、何年か前の時よりも5センチ、10センチ雄物川の水位が上がれば完全に越水して、たぶん宇留井谷地のあたりは全滅という形になってしまうので、どうやって安全な場所へ逃げられるのかというのがすごく大事だと思っています。だからここにはいくら雨が降れば水がつくというのも大事だろうけども、命を守るためには逃げるのが大事なので、その逃げ道をいかに地域住民が確保するか、普段から頭に入れて、こういう場合はどこに逃げれば良いかということだと思つたので。あまりにも大雑把なハザードマップなので、さっき言ったように地域枠でこの地域の、こういう時はこっちから逃げて、それを超えるとこっちからは行かれないというものが欲しいのかなと思っています。

○支所長

はい。まず、あのマップというのは国交省とかでコンピュータでシミュレーションをしたものの最大限の越水ということで、なぜそういうふうにしたかと言うと、今までこれくらいしか水がつかなかったということで安心して逃げなかったという人がいたんですけども、最近、雨の降り方とかが全然変わってきていて、私のところは大丈夫という人が巻き込まれているということなので、最大限のところを示したマップを作成しております。まずひとつは、国交省に聞くとわかると思うんですけども、堤防のところの水深がありますよね。ここは5メートルの水深になりますよというのと、堤防の高さも国交省から聞ければ、仮に堤防が3メートルだとすると差が2メートルになりますよね。ですから、水深が2メートルくらいにつくところは堤防を越えた時にはつかないとか、そういう感じに考えていくしかないのかなと思います。たぶん、それ専用で測量などをやり出せばまた莫大なお金が掛かると思うので、今のマップを見て堤防と水深の最高のところを引いてみて、そうすればここは大丈夫かなというふうに地域ごとに判断していくことしかできないのかなと思います。あとは、地域ごとに時間的な差というものもありまして、最初にここがつかはじめて段々水が流れていってこっちが後につくということもあるので、地域の経験と言いますか、今までの知識をマップに入れ込みながらいくしかないのかなと思っています。まず、総合防災課の方でもマップを作る時に色々アドバイスしてくれる人がいるらしいので、そちらに相談してみただければと思います。

○齊藤勲委員

あとですね、神岡球場ですけども災害の時の避難場所という看板が立っているんです。もちろん、地域の方は水に対しては神岡球場は弱いところで、あのあたりの畑と一緒にすぐに水がついてしまうところなので、水害の時にあそこに逃げる人はいないですけども、回答としても地震とかその他の災害の時の避難場所ということなんでしょうけども、ただ、冬場の積雪時にそこまで除雪をしていないんです。避難場所となっても、冬にその場所まで除雪されているのかどうなのか、災害は季節を選ばないだろうから、積雪時に避難場所と書かれている場所が除雪されていなければ、何のための指定なのかなという意見が地域の人から結構出ているのですから。他の地域でも、避難場所と指定されているところは必ず除雪をして冬場でも行け

るようになっているのでしょうか。神岡球場も、冬場でも中に入ればスタンドの方も人が入るので良い場所なんだとは思いますが、だからと言って冬場に使わない野球場を毎日除雪するというのもおかしい話だろうし。

○支所長

全くもっておっしゃる通りで、積雪時というのは雪国ですので一番痛いところで、例えば野球場とか広場とかを避難場所に指定していますが、人が来られるように除雪すると今度は野球場などはめちゃくちゃになってしまいますし、なかなか対応できないところですが、一応そういう意見があったということで総合防災課の方には伝えておきます。

○会長

取り合えず、この令和4年度地域枠予算活用事業の説明についてはよろしいですね。続きまして、7のその他に入らせていただきます。事務局から何かございませんか。

○事務局（地域活性化推進室）

はい。昨年度、3月の地域協議会の時にもお話したんですけれども、音楽交流館の花壇の件ですが、我々がお花を植えている花壇以外を草刈りしてくれている方に、花壇の花植えをお願いできないか打診してみたのですが、ちょっと無理だということでお断りされてしまいました。私としては中央公園と音楽交流館の花壇両方を地域協議会の皆さんでやるというのは少し大変かなという感じがいたします。それで、どのようにするかというのをご相談したいのですが。

○会長

という事務局からの相談ですが、音楽交流館前と中央公園の両方を委員の皆さん、北檜岡地区と神宮寺地区で分かれてということも考えたのですが、カロリーが必要で大変だなというのが安易に予想されるので。これは、どちらを残すかと言えば中央公園を残すという方向ですよ。

○事務局（地域活性化推進室）

そうですね。まだ予定の段階で今日は詳しいお話はできないんですけれども、中央公園を使ったイベント等も考えておりますので、これから中央公園を都市管理課の方でも拠点公園の一つとしてやってくれるようですので、花の植栽をしたら、事務局としては中央公園をお願いしたいなと思っております。

○工藤容子委員

もう少し早い時期にできないかなと思うのですが。去年もすごく暑かったので。大体の地域で花植えが終わっているんで、もうちょっと早い時期でも良いのかなとは思いますが。

○事務局（地域活性化推進室）

そうですね。時期を早めることは十分可能ですので。中央公園のみとして、音楽交流館の花壇の方は県にお返ししてもよろしいですか。

○会長

いかがです。

(異議なし)

中央公園の花壇であれば皆さんご協力をいただけるという返事のようなのです。

○事務局（地域活性化推進室）

花壇を県の方にお返ししても、北檜岡の草刈りをしてくださっている方たちが、返した花壇も草刈りしてくださると思いますので、最低限の環境美化は守られるのかなと思います。

それでは、お借りしていた花壇は県にお返しして、神岡地域協議会の自主事業としての花の植栽は中央公園の花壇としたいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なし)

以上です。ありがとうございました。

○会長

ありがとうございました。ご案内の際は皆さんご協力をお願いいたします。事務局から、他にございませんか。

○事務局（地域活性化推進室）

はい。ありません。

○会長

委員の皆さんから、何かご提案などがありましたらお伺いいたします。先程の市への要望でも結構です。

○齊藤勲委員

もう一つだけ、すみません。神岡球場の雪捨て場になっているところですが、どこから来るのかはわかりませんが大きい石がありまして、あれはどこから来るもののでしょうか。

○農林建設課長

それは神岡球場を管理していただいている方からも再三再四言われています。あくまでも想像の域を出ないですけども、あそこは雪捨て場になっていて、市の方でも後半になれば除雪をされている方々が、あちこちの一時堆雪をしているところから持ってくるので、もしかすればその時に混ざってきているのではないかなと思っています。わざわざ大きい石を運んできて置いていく人はいないと思いますので。あるいは、一般の方が雪を捨ててに行った時にその中に混ざっていて、雪が融けた時に出てくるということも考えられるのかなと思います。

○齊藤勲委員

今まではなかったことなので。

○農林建設課長

そうですね。最近多いですね。去年も球場の管理人さんから言われて行ったりしましたので。

コンクリートの欠片とかブロックの欠片とかも混ざっていますので、機械などで排雪する時などに中に混ざっていて、そのまま春になって雪が融けた時に出てくるというのかなど、誰がやったのかと言われてもそこまで特定は当然できないですけども、そういう気がします。

○会長

よろしいですか。雪捨て場ですが、市のホームページでも神岡の雪捨て場が全市の雪捨て場のように公開されていて、昨年度あたりから多くなったのが、神岡地域外から雪を捨てに来る業者が多くなっています。神岡地域内の雪を捨てたのであれば、どこかの家の垣根の石がなくなっていたとかという情報が来ると思うんですけども、そういう情報が一切ないので神岡の石ではないでしょう。あと、あそこは底に大きい石が埋まっている場所もあって、排雪の時に引っ掛けて起こしてしまう場合は考えられます。確かに、北檜岡にもこども園のところにも他の地域の業者さんは来ています。大曲は3月10日で閉鎖するものですから、大曲からもどんどん来ているという状況です。神岡の除雪の弁解をするわけではないですけど、雪の中に埋まっているのでわかりませんが、現在のところ他のところからも来ているというのがあります。

○齊藤勲委員

公の雪捨て場ですからね。住民票を見せてもらってというわけにはいかないでしょうから。

○会長

ここだけ緩いんですよ。常駐している人がいないので。誰でも入れるものだから、大曲とかは常駐している人がいて業者登録をして捨てに行きますけど、ここはそうでないので、他からは大変重宝されています。

委員の方から他にございませんか。

(意見なし)

そうすれば、本日の協議はこれで全て終了となります。令和4年度第1回神岡地域協議会を閉じさせていただきます。大変長い時間ありがとうございました。お疲れ様でした。

(11時50分 閉会)

神岡地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

